

本試験課題と予測課題との比較検証

【検証結果】

- 本試験の課題内容と研究会の予測3課題との比較検証を、図面は表1に、計画の要点等は表2に示す。
 - 表1に示すように、課題(図面)で予測できなかったのは、指定床面積と清掃員控室です。
全体としては、予測課題1がほぼそっくりのレベルで的中しました。道路斜線については、予測課題3が7階建てのギリギリの斜線勾配で的中しました。
 - 表2に示すように、課題(計画の要点等)で予測できなかったのは、レントابل比を除くと貸事務室の断面詳細のイメージ図であった。
他はすべて「計画の要点等のまとめ」や「ユーチューブ」で説明した通りの中しており、上記2点も他の記載内容を応用すれば解答できる内容であった。
 - 表1と表2からも明らかのように、令和4年の事務所ビルにおいて、研究会の予測3課題は、80%以上の中したと判断できる。
- ※図面の比較検証、計画の要点等の比較検証、全体の比較検証は、ユーチューブで詳細に解説している。

表1 課題(図面)の比較検証 は類似内容 は的中できなかった

各社	課題名	建設用地			階数	指定床面積 以上～以下 (㎡)～(㎡)	東西南北の条件				要求室										屋上 庭園 (㎡)	屋外 広場 (㎡)	駐車場			駐輪場 (台)		
		規模 (㎡)	横 (m)	縦 (m)			東	西	南	北	事務所部門					レスト ラン	共用部門						設備 指定条件	車いす (台)	利用者 (台)		サービス (台)	
											貸事務 室	シェア オフィス	会議	ラウンジ 休憩	コミュ ニティ		エント ランス	管理室	ゴミ	清掃 控室								防災 備蓄
本試験	R4課題 2022.10.9	1,536	48	32	7階	～	隣地	隣地	道路	道路	7階は 600㎡	500㎡	貸事務 室内有	シェア 内有	150㎡	200㎡	適宜	10㎡	適宜	適宜	適宜	受水槽 消火ポ	100㎡	50㎡	1	1	1	10
研究会	予測課題1 2022.8.22	1,750	50	35	3階	2,000～2,400	隣地	隣地	道路	公園	40人		40㎡	適宜 リフレ	200㎡ 文化	40人	適宜 吹抜	適宜	適宜	—	—	ポンプ室	40㎡	100㎡ 8m円	2	2	0	20
	予測課題2 2022.9.5	1,700	34	50	5階	3,400～3,800	道路	道路	隣地	隣地	400㎡	コワー ク 200㎡	適宜	—	120㎡ 学習	—	適宜	守衛 適宜	適宜	—	40㎡ 備品	受水槽 消火ポ	—	—	1	—	1	10 (内)
	予測課題3 2022.9.19	1,700	50	34	7階 B1	5,000～5,500	道路	道路	隣地	道路	600㎡	—		適宜	子育 学習	—	適宜	適宜	適宜	—	—	受水槽 消火ポ	300㎡	—	1	30	1	10

表2 課題(計画の要点等)の比較検証 赤字は推定できた、青字は推定できなかった

	本試験の課題内容	研究会(計画の要点等まとめ)の検証結果
(1)	基準階(貸事務室A、貸事務室B及び共用部)について、次の①、②の観点から配慮したこと ①収益性(レントابل比に関する記述は除く。)や可変性 ②快適性やテナント及び利用者の多様性	1-1事務所のアプローチ計画、1-3事務所のセキュリティ、1-4事務所のコワーキングルーム 収益性はレントابل比で解説したが文章を応用すれば解答できた
(2)	最上階(シェアオフィス、共用部及び屋上庭園)について、収益性や快適性、多様な働き方に対応可能な空間づくりの観点から配慮したこと	1-4貸事務所部門のコワーキングルームについて考慮したこと
(3)	採用した構造種別と、その構造種別を採用した理由(無柱空間とするに当たり工夫したこと、耐震性や経済性等について配慮したこと。)	2-1建築物に採用した構造種別・架構形式・スパン割り、2-4貸事務室Aの梁
(4)	貸事務室A及び貸事務室Bに採用した空調方式と、次の①、②の観点から配慮したこと ①設備スペース(空調機、室外機、配管スペース等)の確保、②貸事務室A及び貸事務所Bの快適性	3-1層吹抜けの空調方式、3-2貸事務室Aの空調方式、3-4設備シャフト 空調機、室外機は3-1の断面図で提示した
(5)	貸事務室A及び貸事務室Bに採用した排煙方式、その排煙方式を採用した理由及び配慮したこと	1-12排煙設備について考慮したこと
(6)	省エネルギー及び二酸化炭素排出量削減について、次の①～③の観点から配慮したこと ①パッシブ技術、②アクティブ技術、③その他(創エネルギー技術、材料の選定等)	4-1建築計画の環境負荷低減、4-2設備計画の環境負荷低減、4-3二酸化炭素排出抑制 ①パッシブ技術(建築計画)、②アクティブ技術(設備計画)、③その他(太陽光発電、木材利用)
(7)	貸事務室A又は貸事務室Bのペリメータゾーンの断面詳細が分かる図やイラスト等(縮尺1/50程度、フリーハンドでもよい。)又は次の ①～③のポイント(全て【イメージ図等記入欄】に記入する。①建築計画上のポイント、②構造計画上のポイント、③設備計画上のポイント)	1-5居室断面図、2-1部材の断面寸法、3-1空調断面図、3-2空調方式、3-3照明計画 課題のイメージ図を提示できなかったが上記各断面図等を応用すれば解答できた